

☆人材育成研修（歯科衛生士）を開催しました

～後期高齢者医療制度における歯科健診の企画・運営の在り方～

2月28日（木曜日）、南多摩保健所では、「後期高齢者医療制度における歯科健診の企画・運営の在り方」をテーマに人材育成研修（歯科衛生士）を開催し、20名の参加がありました。

講師には、国立保健医療科学院国際協力研究部部長であり、国の重要な歯科関連検討会等での座長や委員を務められておられる、歯科医師の三浦宏子氏を講師にお迎えしました。

後期高齢者歯科健診は平成30年度から、都の後期高齢者広域連合において開催され、当圏域（日野市、多摩市、稲城市、八王子市、町田市）では5市中2市が事業を開始しています。

そこで今回は本テーマを取り上げ、圏域各市区行政機関の歯科衛生士をはじめ主管担当課職員、市と共に事業を構築する歯科医師会の先生方等を対象に実施しました。

はじめに、後期高齢者医療制度と関連の法律についての概要説明後、歯科健診の在り方、考え方の説明を頂きました。つぎに、後期高齢者歯科健診の導入に際しての行政と歯科医師会の連携について、全体構想の共有、健診事後の連携が重要であると強調なさいました。また、平成30年10月に国が出した「後期高齢者を対象とした歯科健診マニュアル」の説明と各市で企画する健診について具体的な助言を頂きました。

終了後も講師に各市が個別に質問し、研修会後のアンケート結果も「とても参考になった」「参考になった」との回答が100%となり、参加者の熱心さが感じられました。

南多摩保健所では今後も時宜を得た研修を実施し、地域歯科保健の向上を推進していきます。

